

令和2年2月 青葉区議員団会議 会議録	
開催日時	令和2年2月10日（月） 午後4時15分～午後5時
場 所	青葉区役所4階402・403会議室
出席者	<p>【議 長】 横山正人議員</p> <p>【議員：6名】 大貫憲夫議員、行田朝仁議員、小島健一議員、平田いくよ議員、藤崎浩太郎議員、山下正人議員</p> <p>【説明局員：36名】（青葉区：33名）  小出重佳区長、岡田勇輔副区長、勝島聡一郎福祉保健センター長、吉田雅彦福祉保健センター担当部長、上田祐一郎青葉土木事務所長  ほか関係職員  （都市整備局：1名 交通局：1名 道路局：1名）  橋詰都市整備局都市交通課長、上杉交通局建設改良課長、谷津道路局横浜環状北西線建設課長</p>
次 第	<p>1 報告事項</p> <p>(1) 令和2年度青葉区内における主な局予算事業について  (区政推進課・資料1)</p> <p>(2) 高速鉄道3号線の延伸（あざみ野～新百合ヶ丘）の概略ルート・駅位置について  (都市整備局都市交通課、交通局建設改良課・資料2)</p> <p>2 情報提供</p> <p>(1) 横浜北西線の開通について  (道路局横浜環状北西線建設課・資料3)</p> <p>(2) 青葉区庁舎等の改修工事について  (総務課・資料4)</p>
報告事項	(1) 令和2年度青葉区内における主な局予算事業について
発言の要旨	<p>山下議員 都市計画道路に関しては、恩田元石川線が先行取得を行うということで、やっと開通に向けて動き出してきた。</p> <p>一方で3号線が延伸されれば、新駅へ向かうバス便など場所によっては交通量が増加することも考えられる。</p> <p>付近では、川崎市北部市場の横に新しく道路が通ったり、平崎橋では右折レーンの問題や信号の設定等の問題もあり、現状でも週末になると住宅街の中に車が流れ込んでくる等、青葉区内のいろいろなところでボトルネックができる可能性がある。</p> <p>「道路が開通しました、ここで混みますよ」では困る。道路の開通や3号線の延伸にあたっては、県警をはじめとした県との調整など、全体的な見直しも含めて区として早めに動いていくべきと考えるが、具体的な話は出ているか。</p>

<p>上田青葉土木 事務所長</p>	<p>恩田元石川線の先行取得路線が元石川地区まで拡大され、いよいよ事業化の検討に入ることになった。</p> <p>元石川線については川崎市との調整もあるが、道路局としては都市計画道路の必要な路線と考えている。</p> <p>新しい路線ができれば交通の流れは変わってくるため、主要な交差点等における対策については県警との協議が必要と考えている。</p> <p>信号の設置や例えば平崎橋の右折レーンの問題等、安全対策や交通規制について、道路改良の一環として先行してできるところと都市計画道路の整備の進捗に応じて協議を進めていくものと、整理して対応していきたい。</p>
<p>小島議員</p>	<p>特別養護老人ホーム整備事業に関して、青葉区内では元石川と荏田北の2か所に設置予定があるようだが、特別養護老人ホームの業界の方々としては、介護人材の確保が困難な中で、もう施設を建てないでくれという声のほうが強いと思う。</p> <p>ベッド数は100ずつぐらいになるのだろうが、設置は決定と考えていいのか。</p>
<p>鈴木区政推進 課長</p>	<p>健康福祉局の予算概要の中で、元石川の施設についてはプレシヤス横浜（仮称）という施設名が記載されており、定員は100名となっている。</p> <p>荏田北の施設については、3月下旬に事業者が決定する予定と聞いている。</p>
<p>大貫議員</p>	<p>国際局の国際交流ラウンジの運営支援については、外国の方が非常に増えている中で大事な事業だと考えている。</p> <p>この事業の予算額の増減はどうなっているか。</p> <p>また、日本語教室では多くの方がボランティアで講師をしていただいているありがたいことだが、一方でその教え方はさまざまという声も聞く。</p> <p>ボランティアの方々の熱意を大事にしながら効果的な授業を行うためにも、指導方法を学んでいただく機会を設けたり、統一的な指導マニュアルを整備する考えはあるか。</p>
<p>鈴木地域振興 課長</p>	<p>予算額は昨年と同等の金額である。</p> <p>日本語教室には72名と多くの方に従事していただき、平成30年度は124回開催いただいた。</p> <p>この積み重ねの中でボランティアの方々の経験もかなり蓄積されていると考えるが、さらにパフォーマンスを向上していただけるよう、国</p>

	<p>際局やY O K Eなど関係部署とも連携しながら取り組んでいきたい</p>	
<p>報告事項 (2) 高速鉄道3号線の延伸(あざみ野~新百合ヶ丘)の概略ルート・駅位置について</p>		
<p>発言の 要旨</p>	<p>質疑なし</p>	
<p>情報提供 (1) 横浜北西線の開通について</p>		
<p>発言の 要旨</p>	<p>横山議員</p>	<p>料金面から言うと、例えば常磐道や東北道、北関東道へ行くには、東名高速道路を使うよりも青葉インターから首都高に乗って行ったほうが安くなる。</p> <p>これでは首都高に流れてしまうため、そうならないよう平準化を図ると言っているが、まだ心配している。</p> <p>平準化の方法としては、E T C車で首都高を通る場合、一定時間内に降りないと東名高速道路を通った場合と同じ料金にしている。</p> <p>しかし、首都高速道路の料金は距離制になったとはいえ、上限料金が設定されており、一定距離以上を走った場合の料金は現金車と変わらない。</p> <p>この結果どういことが起きるかという、東名高速道路の名古屋側から来る場合、首都高速道路に入って東京方面へ抜けたほうが安い。またはE T Cを抜いて現金で払ったほうが安くなる。</p> <p>あるいは、一旦青葉インターで降りてまた乗り直したほうが安くなる、ということが起きる。</p> <p>インターの周辺には車を止められそうなスペースがたくさんあるし、そこで20~30分休憩して乗り直す、といった使い方がされ、周辺街路の交通量が増加して渋滞が発生する可能性がある。</p> <p>青葉区でこうした可能性に対して準備が必要だと思うが、どうか。</p>
	<p>谷津横浜環状 北西線建設課 長</p>	<p>東名高速道路と北西線を連続利用する場合は料金調整が入るため、名古屋方面から東名経由で東京を抜けて東北道などに行かれる場合と、北西線を通って行く場合とはほぼ同じ額になる。</p> <p>しかし、連続利用の場合でも一回降りて一定時間を空けて、北西線に乗り換えると東名経由より安くなるのはご指摘のとおりである。</p> <p>今回の料金調整は、市内を通り抜ける車両をできるだけ少なくするという観点で行っていると聞いており、交通運用を見ながら改めて検討されるのではないかと考えている。</p>

情報提供（２）青葉区庁舎等の改修工事について	
発言の 要旨	<p>山下議員            青葉区はスポーツ人口に対して使える施設が少ない。スポーツセンターや公会堂の休館中の代替施設については、利用団体も含めて早めの調整が必要だと思うが、対応状況はどうか。</p> <p>鈴木地域振興 課長                現在の利用団体の皆様に早めに周知させていただくとともに、今後、区内の地区センターや近隣のスポーツセンター等をご案内したいと考えている。</p> <p>横山議員            スポーツセンターについて３点確認したい。            一点目は、照明について。いつも電球が切れている。大規模修繕工事の時にLED化すると聞いているが予定はどうなっているか。            二点目は、マイクロホンについて。周波数帯の関係で一度に２つは使えないとのことだが、把握しているか。            三点目は、利用者との調整について。利用調整会議等で利用団体に対してあらかじめお願いをしておかなければならないことがいろいろあると思うが、団体への周知はいつ頃どのように行うのか。</p> <p>鈴木地域振興 課長                一点目の第２体育室の照明については、２月１７日の休館日に工事をする予定である。大規模修繕に合わせてLED化すると聞いている。            二点目のマイクロホンについては、指定管理者に確認するが、混線せず使用するよう指導したい。            三点目の利用団体への周知については、２月の区連合町内会長会でご説明した後、広報よこはま等を利用してなるべく早く周知したいと考えている。特に９月頃から利用調整会議が行われるため、それまでには皆様に周知していきたい。</p>